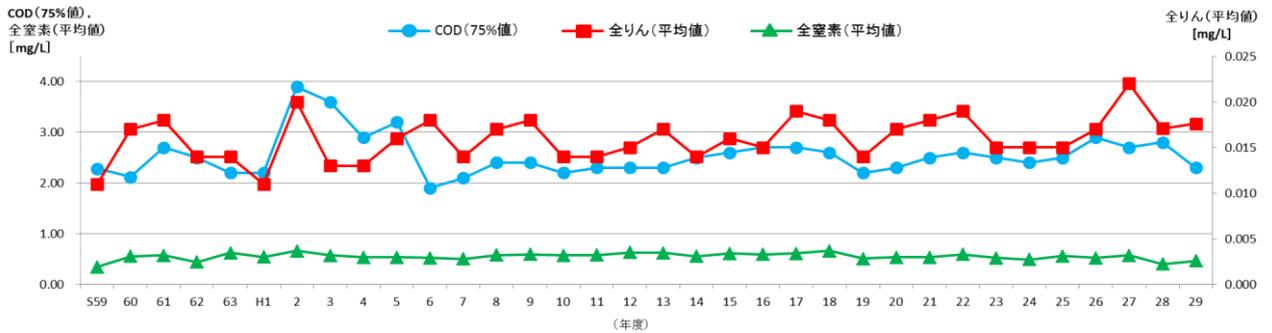


CODが下げ止まりの傾向にある他湖沼

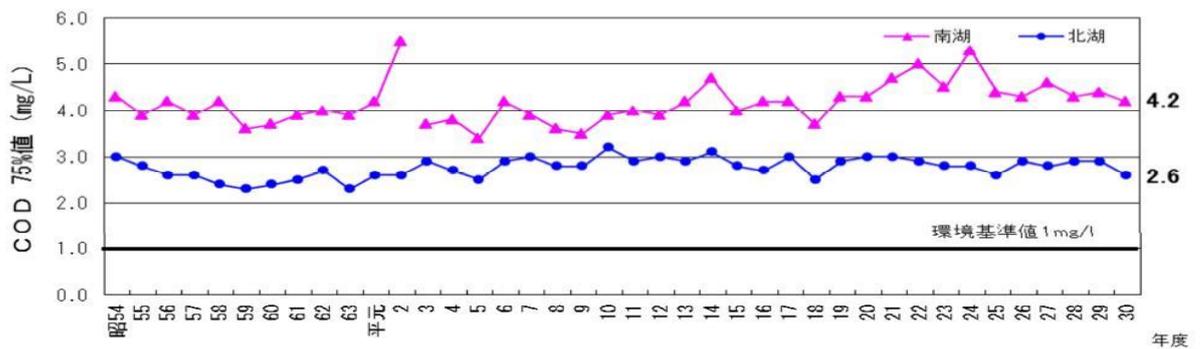
野尻湖と同じAA類型の湖沼のうち、湖内のCOD（化学的酸素要求量）が近年下げ止まっていると考えられる3つの湖沼について、聞き取り等を行った結果は以下のとおり。

1 釜房ダム貯水池（宮城県）



COD下げ止まりの理由	<ul style="list-style-type: none"> ・流入負荷量の変動のみでは説明できない。 ・貯水池内の内部生産や、地球温暖化（気温上昇、積雪量の減少など）が想定されるが、現段階では定量的な評価を行うことは困難
COD削減のための課題	<p>地球温暖化との関連が想定される流入河川の流況特性や水温変動の把握が必要</p> <p>複数の植物プランクトン種の増殖や将来的な地球温暖化に伴う影響を考慮した水質・生態系モデルの解析が必要</p>

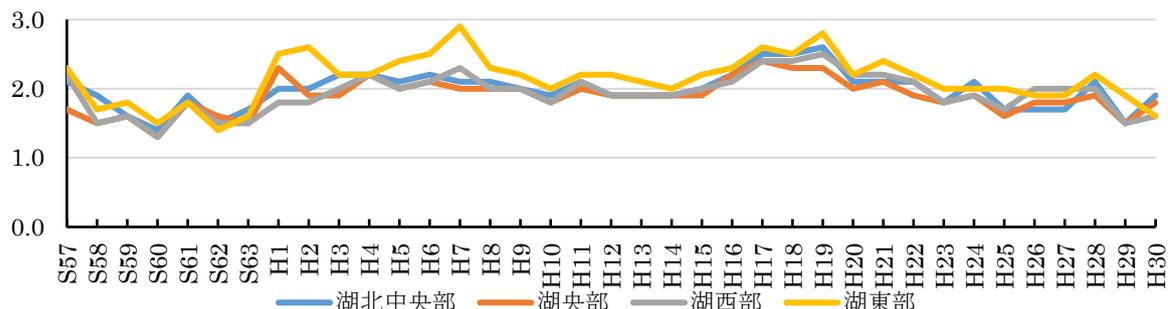
2 琵琶湖（滋賀県）



COD下げ止まりの理由	有機物の質的变化(湖内の植物プランクトンによる内部生産、難分解性物質)
COD削減のための課題	難分解性有機物の起源が植物プランクトンによる内部生産と想定されるため、植物プランクトンや魚介類の変化と湖内有機物との関係性の解明と、生態系の健全性回復に向けた具体的な対策構築が必要だが、これらの知見が不足している。

3 芦ノ湖（神奈川県）

芦ノ湖 全層75%COD値 推移



COD下げ止まりの理由	神奈川県環境科学センターの研究から、湖底堆積物からの溶出成分による可能性が高いと推定されている。
COD削減のための課題	発生源の実態把握が必要となる。

4 (参考) 湖沼のCODに係る類型及び基準値

類型	利用目的の適応性	CODの基準値
A A	水道1級 水産1級 自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	1 mg/L 以下
A	水道2、3級 水産2級 水浴及びB以下の欄に掲げるもの	3 mg/L 以下
B	水産3級 工業用水1級 農業用水及びCの欄に掲げるもの	5 mg/L 以下
C	工業用水2級 環境保全	8 mg/L 以下

- (注) 1. 自然環境保全：自然探勝等の環境の保全
 2. 水道 1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 // 2、3級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作、又は、前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
 3. 水産 1級：ヒメマス等貧栄養湖型の水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
 // 2級：サケ科魚類及びアユ等貧栄養湖型の水域の水産生物用並びに水産3級の水産生物用
 // 3級：コイ、フナ等富栄養湖型の水域の水産生物用
 4. 工業用水1級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
 // 2級：薬品注入等による高度の浄水操作、又は、特殊な浄水操作を行うもの
 5. 環境保全：国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度